

「幌延深地層研究計画 札幌報告会2021」 挨拶

令和3年11月9日

幌延深地層研究センター所長 柴田 雅博

幌延深地層研究センター所長を務めております柴田と申します。

本日はお忙しい中、「幌延深地層研究計画 札幌報告会2021」に足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。

- まずは、常日頃より当機構の業務につきまして、ご支援・ご協力を賜りましておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- 当初4月に札幌説明会、7月に札幌報告会の開催を予定しておりましたが、道内における新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により延期が重なり、この時期の開催となりましたことについて、ご理解をいただけますと幸いに存じます。

本日は、令和2年度の調査研究成果および令和3年度の調査研究計画とあわせて、稚内層深部（深度500m）における研究の実施に関する検討結果につきましてもご説明させていただきます。

これまで着実に成果をあげつつ研究開発ができましたのも、ひとえに幌延町などの地域の皆様をはじめとした北海道民の皆さまのご理解・ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

いずれにしましても、機構の事業を進める上では、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら、公明正大にかつ最大限の成果が得られるように進めていきたいと考えております。

それでは、令和2年度の調査研究成果および令和3年度の調査研究計画ならびに稚内層深部（深度500m）における研究の実施に関する検討結果について説明をさせていただきますので、忌憚のないご意見等いただければと思います。

今後とも、安全を第一に情報公開を徹底し、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願います。